

(様式2)

学校関係者評価報告書

愛媛県立今治北高等学校大三島分校

学校番号(16)

評価実施日		令和5年2月17日(金)	
委員	氏名	所属等	備考
	近藤 勲	今治市立大三島中学校長	
	黒川 美樹	大三島分校PTA会長	
	越智 義廣	上浦地域代表	
	田原 一寿	上浦地域代表	
	加島 愛	大三島地域代表	

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学習指導</p> <p>幅広い学力の生徒が在籍する中、習熟度別講座やチームティーチングを効果的に導入し、生徒一人一人の学力の伸長に努めていることがよく分かります。これまでの学習活動の充実が、保護者や生徒の評価向上につながったと思います。引き続き、生徒一人一人が達成感や分かる喜びを感じつつ、着実に学力を伸ばすことができる授業を展開してほしいと願っています。</p> <p>参観授業では、生徒たちが主体的に活動する姿が印象的でした。また、ICTも効果的に活用されていました。次年度以降も計画的に研究授業を実施し、先生方の授業力の更なる向上に努めてほしいと思います。</p> <p>(2) 生徒指導</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、夏の高校野球愛媛県大会で全校応援ができなかったことは残念でしたが、ボート大会や運動会等の学校行事でその伝統が守られていることは大変喜ばしいことと思っています。生徒の大三島分校への愛着と所属感、一体感を醸成するためにも、この伝統は守ってほしい。</p> <p>皆勤率の向上は、生徒一人一人の基本的な生活習慣の確立がカギとなります。SLA等の外部の相談員との連携を密にして、心身ともに健康な生徒の育成に努めてほしい。</p> <p>(3) 進路指導</p> <p>生徒の進路希望は多岐に渡っていますが、一人一人に丁寧な進路指導が展開されていると思います。特に本年度は大学入学共通テストを受験して国立大学を目指す生徒への指導も充実していました。今後も生徒の進路実現を通して自己肯定感の確立に努めてほしい。</p> <p>インターンシップは望ましい勤労観や職業観の確立に効果があると思います。次年度以降も島内の各事業所の協力を得ながら、生徒たちの成長に役立つものにしてほしい。</p> <p>(4) 家庭・地域との連携</p> <p>ホームページの更新や分校通信の発行など、学校からの情報発信が積極的に進められており、学校や日々の生徒の活動がよく伝わっています。</p> <p>3年ぶりに開催されたPTA総会は、参加者が少なかったことが気になりました。評議員会や個別の連絡により学校と保護者の情報交換は十分に行われていると思うが、PTA活動の活性化について検討してほしい。</p> <p>保護者・生徒による学校評価が多くの項目で前年度を上回っています。次年度以降もより良い評価が得られるように努めてほしい。</p> <p>(5) 組織運営</p> <p>ボート部の活躍や島デザイン部の住民を巻き込んだ活動、地域住民の協力を得て実施する学校行事など、生徒が中心となって「大三島分校の魅力」を積極的にPRすることができています。地域住民も生徒の活躍には元気づけられており、注目しています。次年度以降も生徒たちが活躍できるように効果的な指導を継続してほしい。</p> <p>今年度も32名の志願者を獲得することができ、安心しています。職員の皆様方の努力の賜物と感謝しています。親元を離れて生活する寄宿生の指導が先生方の大きな負担となることがないように留意してほしい。</p>	<p>次年度以降も、生徒の学力を適切に把握し、生徒一人一人が学習を通して分かる喜びを感じ、学習に主体的に取り組む態度の育成を通して、全体的な学力の向上を図ります。</p> <p>また、ICTを活用した授業の研究を各教科で行うとともに、研究授業を計画的に実施し、教員の授業力向上を図り、保護者や生徒からより良い授業評価を得ることができるように努めます。</p> <p>応援は、大三島分校の守るべき大切な伝統であると認識しており、生徒たちが継続して取り組むことができるように各学校行事に取り入れております。次年度以降も新型コロナウイルス感染症の状況を適切に把握しながら実施します。</p> <p>大三島分校では教育相談体制の充実に努めています。生徒の基本的な生活習慣の確立に努め、明るく学校生活を送ることができるよう、職員間の連携を強化し支援します。</p> <p>次年度以降も生徒の進路希望に応じた丁寧かつ効果的な個別指導を充実させ、一人一人の進路実現に努めるとともに、自己の将来への自信と明るい展望を持たせる指導を展開します。</p> <p>インターンシップ先からの生徒の評価は良好であり、一人一人の成長につながったと考えています。今後も地域の皆様との協力を得ながら、充実した活動になるよう努めます。</p> <p>学校や生徒の活動を地域の皆様を知っていただけるよう、次年度以降も複数の媒体を活用した効果的な広報活動を継続します。</p> <p>PTA総会の開催時期や方法を検討するとともに、PTA活動の充実を図り、保護者の皆様が出席しやすい環境づくりに努めます。</p> <p>本年度の課題を適切に把握し、その解決に向けた取組をとおして、評価の向上に努めます。</p> <p>大三島分校の振興に向けた生徒の活動は、地域の活性化にも貢献できるものと考えています。今後も地域とともに歩む学校として、地域の皆様や関係諸団体の協力を得ながら効果的な教育活動を展開します。</p> <p>令和5年度入試では、県内から24名、県外から8名の志願者を得ることができました。特に地元の大三島中学校からは3年生22名の50%に当たる11名が志願してくれたことは特筆すべきことと考えています。今後も入学者確保に向け、学校の魅力化に努めます。</p> <p>休暇取得の促進やテレワークの実施等、制度を効果的に活用して勤務時間の縮減に努め、教職員のワークライフバランスをより一層向上させます。</p>
<p>2 学校運営への提言</p> <p>先生方の時間外在校時間が平均で50時間/月程度となっています。献身的に指導していただいている結果であると思いますが、働き方改革をすすめ、教職員の負担軽減も図ってほしい。</p>	